

事前申込制

交差する ミュージアム

2025年1月26日(日)

関わりから
クリエイティビティがうまれる

2024年4月から、障害や様々な特性のある方への「合理的配慮」が義務づけられました。美術館をはじめとするミュージアムでも、多様な人々との対話からはじまる共生をめざし、その具体的な方法について議論する機会が増えています。

13年目を迎えた「とびらプロジェクト」には、ろう者、難聴者、全盲の方を含む多様なとびラーが集い、それぞれの関心や特性を活かし合いながらコミュニティを育む活動に取り組んでいます。アートを紹介した対話を深め、多様な人々が意見を交わし合いながら共に試行錯誤を重ねるプロセスは、この活動の大切な基盤です。

今回のフォーラムでは、異なる人々が互いの「違い」に魅力を感じ、関わり合うことで生まれるクリエイティビティとは何かを考えます。ミュージアムの現場で活動する「とびラー」の体験談をもとに、人々が交差する場での創造的な関わりについて話していきます。

ご参加をお待ちしています。

※プログラムの様子は、広報・記録用に撮影させていただきます。ウェブサイト等の広報媒体に使用することがありますので、ご了承ください。

第1部

※手話通訳、日本語字幕あり

時間：13:00～15:30 開場：12:30

会場：東京都美術館 講堂

定員：220名

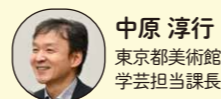
※定員になり次第締め切ります。※後日、記録映像の公開あり

- とびらプロジェクトとは？
- アート・コミュニケータートーク
関わりからうまれる
クリエイティビティとは
アート・コミュニケーター / 熊谷香寿美 / 小牟田悠介

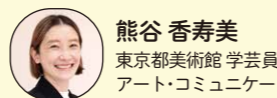
● ディスカッション 交差するミュージアム



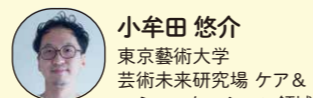
日比野 克彦
アーティスト、
東京藝術大学学長



中原 淳行
東京都美術館
学芸担当課長



熊谷 香寿美
東京都美術館 学芸員
アート・コミュニケーション係長、
とびらプロジェクト
マネージャー



小牟田 悠介
東京藝術大学
芸術未来研究場 ケア&
コミュニケーション領域
特任助教、
とびらプロジェクト
マネージャー

第2部

時間：15:45～17:00

会場：東京都美術館 講堂、
アートスタディールーム、スタジオ

とびラーオープンセッション

とびらプロジェクトの活動拠点を公開し、とびラーが普段の活動についてご紹介します。時間内はご自由に入退室できます。

とびラー 募集!

定員
40名

締切

消印有効

2025.1.31(金)

「とびらプロジェクト」で活動する
アート・コミュニケーターを
「とびラー」と呼びます。



東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト

「とびらプロジェクト」とは、東京都美術館と東京藝術大学と市民が連携して行っているソーシャルデザインプロジェクトです。

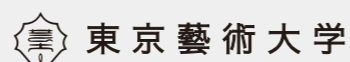
お問い合わせ

東京都美術館 アート・コミュニケーション係 〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36

メール：q-tobira@tobira-project.info / Tel：03-3823-6921 (東京都美術館代表)

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、東京藝術大学
企画・運営：東京都美術館 × 東京藝術大学「とびらプロジェクト」

©2024 Tokyo Metropolitan Art Museum



とびらプロジェクトとは？

とびらプロジェクトは、東京都美術館と東京藝術大学と市民が連携し、アートを通してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクトです。美術館を拠点に、そこにある文化資源を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、そこから生まれる新しい価値を、実践を通して社会に届けています。

今年も活動の主体となるアート・コミュニケータ（とびラー）を40名募集します。東京都美術館と東京藝術大学と共に、あなたもアート・コミュニケータ（とびラー）として活動に参加してみませんか。「とびラー」の活動は、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家を中心としたプロジェクトチームがしっかりとサポートしていきます。



例えばこんな活動

アート・コミュニケータ（とびラー）は、アートを介して社会の中に新しい価値をはぐくむ活動を行っています。



人々のつながりを大切にしたい新しい対話の場づくり



新しいコミュニティづくりの考え方を学ぶ基礎講座（2025年4月～6月全6回）



とびラーが活動を生み出していくための実践講座（2025年7月よりアクセス・鑑賞・建築から選択して参加）



障害のある方や高齢者など美術館に来館しづらい方々を対象とした鑑賞プログラム(Creative Ageing ずっとびとの連動など)



建築家・前川國男が設計した東京都美術館の建築を味わう取り組み



子どもたちが自ら学び考える力を育む鑑賞プログラム (Museum Start あいうえのとの連動など)

東京都美術館の使命（ミッション）

東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、障害のある方が何のためらいもなく来館できる、すべての人に開かれた「アートへの入口」となることを目指します。

新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、「生きる糧としてのアート」と出会う場とします。そして、人びとの「心のゆたかさの拠り所」となることを目指して活動していきます。

東京藝術大学からのメッセージ

アートはあらゆる境界を越えて、人にとって根源的な力を湧き立たせ、世界との繋がりを生み出します。

東京藝術大学は、人の中にある創造性の探求を研究活動の根底に置き、多様性を魅力とするアートの役割を創造します。人と作品、人と人、人と場所をつなぐアート・コミュニケータと共にコミュニティを築き、様々な分野、状況にある人との共創に取り組みすることで、「アートは生きる力」であることをすべての人に届けます。

募集要項

日程

応募受付期間

2025年
1月4日(土)～1月31日(金)
消印有効

1次選考書類審査

選考結果は
2月18日(火)発送で
応募者全員にお知らせします。

2次選考面接審査

2025年
3月7日(金)～9日(日)
※面接は、東京都美術館にて対面を実施
します。
※2次選考の面接はアート・コミュニケータ
の活動をウェブサイトや参考図書等でご覧
いただいていることを前提に行います。

応募条件

- 2025年4月1日時点で18歳以上の方で、日常会話レベルの日本語ができる方
- 美術または美術館に関心があり、積極的に学び、活動意欲のある方
- 東京都美術館の使命(ミッション)と東京藝術大学からのメッセージを理解し、共感して活動できる方
- 2025年4月～6月の基礎講座全6回に全て参加可能な方
基礎講座日程：2025年4月12日・26日、5月10日・24日、6月7日・21日(すべて土曜日、午前10時～午後3時予定)
- 2025年7月以降、月2日以上の活動に参加可能な方
- パソコンなどでのEメール送受信が可能な方

活動条件

- 活動場所は東京都美術館、東京藝術大学などです。
- アート・コミュニケータの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、ワークショップや講座等学びのコミュニティに無料で参加できます。
- アート・コミュニケータの登録期間は1年間とします。次年度以降は本人ととびらプロジェクト双方の合意のうえ、登録更新し、最長3年間とします。

活動に際して

- Eメールでの連絡のほか、とびらプロジェクト専用SNSやオンライン情報共有ツール(Googleカレンダーや、Googleドライブ等)を使用します。
- 講座や活動には、必要に応じて、手話通訳などの情報保障対応を行います。

応募方法

以下の書類を郵送してください。

- ✓ 応募用紙：<アート・コミュニケータ応募用紙>に必要事項を記入してください。
※「とびら募集！」ページよりダウンロードしてください。<https://tobira-project.info/b2025/>
※面接時に手話通訳等の情報保障が必要な方は、応募用紙の該当欄にご記入ください。
- ✓ 課題：A4用紙1枚（記載様式自由、裏面への記入不可、必ず氏名を記載してください）
- ✓ 返信用封筒1通：定形封筒（長形3号）に**110円切手を貼付**の上、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。
- ✓ 郵送の際には、封筒の表面に「**アート・コミュニケータ応募書類在中**」と朱記してください。

1次選考課題

アート・コミュニケータに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって重要な体験について述べてください。美術館の体験でも、美術館の体験でなくてもかまいません。

(A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。記載様式は自由ですがA4規格外の用紙使用や裏面への記載は選考対象となりませんのでご注意ください。)

応募受付期間 2025年1月4日(土)～1月31日(金) 消印有効

「とびら募集！」
ページはこちら



※詳細は必ず「とびら募集！」
ページにてご確認ください。

書類郵送先

〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36 東京都美術館 アート・コミュニケータ募集担当宛

※一度提出していただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。※応募者の個人情報は、アート・コミュニケータの選考に関する以外には一切使用しません。